

## 「主の涙」

## 1. はじめに

- ・巡回伝道の最後である。エルサレムに入り、神のわざの完成に向かっていく。それは十字架への道である。
- ・凱旋のイメージ。または巡礼者の都上りのイメージ。

## 2. 本文

## ・ 28 ~ 36 節

- ・ 29 節：イエスはこう言って、二人の弟子を遣わされた。
  - ・ 子ろばを連れてきなさい。
  - ・ イエスが言われたとおりであった。

\*ゼカリヤ 9 : 9 「娘シオンよ、大いに喜び。娘エルサレムよ、喜び叫べ。見よ、あなたの王があなたのところに来る。義なる者で、勝利を得、柔和な者で、ろばに乗って。雌ろばの子である、ろばに乗って。

## ・ 37 ~ 40 節

- ・ 37 節：弟子たちはみな、神を賛美しはじめた。
- ・ 詩篇 118 : 26

「祝福あれ、主の御名によって来られる方に。私たちは主の家からあなたがたを祝福する。」

- ・ エペソ 4 : 8
- ・ 39 節：パリサイ人の何人かが、「弟子を叱ってください。」と言った。
- ・ 40 節：わたしは、あなたがたに言います。もしこの人たちが黙れば、石が叫びます。  
cf:ルカ 3 : 8 「言っておきますが、神はこれらの石ころからでも、アブラハムの子らを起こすことができるのです。」

## ・ 41 ~ 44 節

\*主の入城：凱旋式はどうであったか。

- ・ 41 節：この都のために泣いて、言われた。
  - 42 節：もし、平和に向かう道を、この日おまえも知っていたら—
  - 44 節：神の訪れの時を、おまえが知らなかったからだ。

\*平和と訪れの時

- ・ 時代と社会。(当時の政治社会状況：特に熱心党のテロと占領下による重税、そして今までの社会層が崩れていく様など、希望なき、かつ不安と混乱の時代。)

- ・ 参考：イザヤ 53 : 1 ~ 12

## 4. まとめ

- ・ 主の涙は私たちに何を約束しますか。
  - ・ イザヤ 40 : 8 「草はしおれ、花は散る。しかし、私たちの神のことばは永遠に立つ。」
  - ・ 「愛」(アガペー) とは